

SSKP

千葉DARC NEWSLETTER KEEP ON GROWING!

平成18年10月号 編集：千葉ダルク事務局
千葉ダルク：千葉県千葉市中央区白旗3-16-7 電話043-209-5564

秋空の澄み渡った好季節となりました、皆様いかがお過ごしでしょうか。
千葉ダルクでは9月・10月と多くのイベントに参加してきました。日頃なかなか会う
機会の出来ない仲間や、NAメンバーとのフェローシップは私達、薬中にとってとても大
切な事ということを実感しました。

また、6月からはじめたプログラム、琉球太鼓も夏の暑い中、サウナ状態の体育館で
週2日汗ダクになりながら仲間と共に続けています。そんな中ようやく3名の仲間がア
ルシ連でのイベントに参加して初めて人前で演舞することができました。その3名の仲
間はともにボン中です。今までは注射器を片手に踊っていた人達ですが、今はそれをバ
チに変えてそれも人前で...とても信じられません！今後も機会あれば積極的に参加し
ていきたいと思えます。

しかし残念ながらもまだ、本番用の太鼓と衣装購入する為の資金の目途がたっていませ
ん。本番の時は他の施設からの余りを借りて参加させていただいています。

当初、助成金での購入を考え申請したのですが採択されませんでした。ダルクの現状
を考えても購入資金を捻出するのはとても無理です。どこの施設でも同じだと思っ
ますが千葉ダルクに於いても運営するので目一杯です。

年内にはどうにか購入していきたいと考えています。毎回のお願いで心苦しいので
すが皆様のお力を借りるしか購入することができません。本番用の太鼓と衣装購入資金約
30万円が必要です。皆様からの献金のご協力をお願い致します。

千葉ダルク施設長 白川 雄一郎



ダルクに入寮して

シモン



「シモン、千葉ダルクに決まったよ」横浜ダルクの職員に言われた時、私は「私でも引き取ってくれるんだな」と思いました。横浜ダルクに通所して6日しか経っていませんでした。「私の様なポン中誰も相手はしないし分かってくれない」と思った事もありました。底付きの状態です。入院した私は、「もうダルクしかない」と助けを求めました。

平成16年に5回目の刑務所生活を終えた私は、「一人でもシャブは止められる」と思っていました。それが思い上がりでした。出所

後2年間はクリーンな生活が続きましたがフラッシュバックに苦しみました。今回の入院で同室だった仲間が同じ苦しみを抱えていたので話をしました。「実は…」と話し始めると彼も「自分も…」と話始めました。以前NAに繋がっていたときとは違う感覚でした。

彼も横浜ダルクに入所し私も10日後に千葉ダルクに入所し3日目。私は今「ここでなら大丈夫」と思いました。スタッフを含め9人の共同生活、同じ苦しみを共有する仲間がいます。初日ハグされ仲間に加わりました。

スタッフから「ゆっくり行きましょう」と話され今までの不安は消えました。

Easy does it (あせらずにゆっくりと)

私は焦りや不安感で失敗した人間でもあります「底付きからの第一歩、自分を丸裸にして全てをダルクに任せよう」今はそう思っています。「私など誰も相手にしない」などと思っていた頃の自分が今は恥ずかしくもありません。恥ずかしい事も苦しい事もここなら話せます。「なにもきれい事ならべる事はない」今はそう思っています。仲間は分かってくれる、そう思うのです。

使っていた頃から180度変わった生活が始まっています。素直に笑い、素直に喜ぶ。そんな生活を送った事ありませんでした。

これからは自分を変えて行きながら生活を楽しみたいと思っています。そしてより良い社会人として歩みたいとも思っています。

今は自分に声を掛けています。「頑張れシモン。Easy does it」

ダルクに来て

ヤス

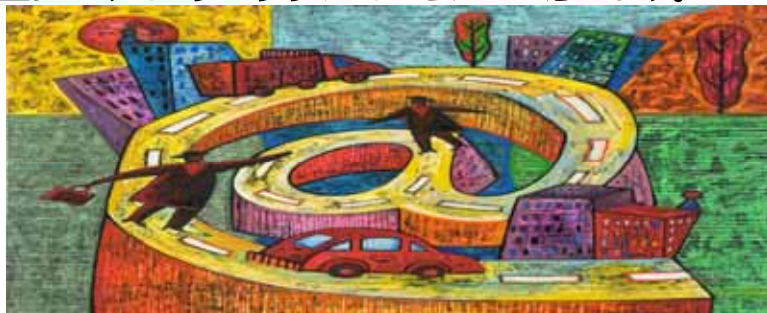
僕はダルクに来る前は病院にいました。なぜ病院にいたかという、暴れて警察のお世話になってしまったからです。なぜ暴れたのかは僕にも分かりません。たぶんご飯を45日くらい食べてなくて、それで頭がおかしくなったんだと思います。なぜ食べていなかったかというとお金が無くなったからです。

僕は、「もうどうでもいいや、死んでも良い」という感じで投げやりになっていました。働こうともせずに車の中で生活をしていました。車の中では、ほとんど何もせずにタバコを吸い、水を飲み雑誌を読んだりしていました。でもそのうち「このまま死んだら後悔する」と思い妹や知り合いを頼りました。そして助けてもらい飯を食わせて貰ったんですが、喧嘩をしまい妹から離れてしまいました。その後一人になってから無銭飲食をしたり車をガードレールにわざとぶついたり、車に飛び込んだり、数々の奇行を繰り返してそして暴れている所を警察に取り押さえられました。今思えば一体何をやっているのだろうという感じなのですがそのときはそれで一生懸命でした。完全におかしくなっていました、今ではそのことが僕の心の闇になっています。そして病院に入院しました。

病院では色々な人と出会い退屈だったけど楽しく過ごしました。マージャンをやったり卓球をやったり将棋を指したりしていました。自分の病気は一過性のものだと言われました。そして3ヶ月の入院期間をへてダルクに来ました。本当はアパートを探してすぐに一人暮らしが良かったのですが福祉の方からダメと言われてしまいました。

一人暮らしをする前にもうワンクッションという事でダルクに行きなさいと言われてました。

ダルクに来て最初はどんな所だろうと思っていましたが思っていたよりも皆人がよく生活も嫌なものでもありませんでした。ミーティングで仲間のお話を聞くと僕と同じような事で悩んでいるのだなと思いました。これからは仲間と共に自立にむけて一步一步歩んでいきたいと思っています。



千葉ダルクの活動報告

8月度・9月度

千葉市中央区保護司会にて講演
千葉市立更科中学校にて講演
国立精神・神経センター薬物依存研究部にて講演
仙台ダルクフォーラム参加
JCCA定例会参加
国立下総精神医療センターへメッセージ（第二・四火曜日）
秋元病院へメッセージ（第三土曜日）
横須賀刑務所へメッセージ（毎週金曜日）
久里浜少年院へメッセージ（毎月第二金曜日）

10月度以降の活動予定

千葉県立国分高校にて講演
アルコール薬物施設連絡会参加
横須賀刑務所矯正展へ参加
横浜刑務所矯正展へ参加
横浜ダルクフォーラム参加
前橋刑務所へメッセージ
国立下総精神医療センターへメッセージ（第二・四火曜日）
秋元病院へメッセージ（第三土曜日）
横須賀刑務所へメッセージ（毎週金曜日）
久里浜少年院へメッセージ（毎月第二金曜日）